

何故、浜松（静岡県）は楽器の町になったのか？

＜地理をブラタモリから見る＞

浜松は楽器世界一の生産地（ピアノ(40%)・管楽器）

ヤマハ楽器（ヤマハ発動機〈オートバイ・モーターボート〉・河合楽器・ローランド

※ ホンダ・スズキ（自動車・オートバイ）の発祥地

※ 豊田佐吉（トヨタ自動車の創始者〈浜名湖西岸生まれ、農民・大工→機械工〉）

※ ボーイング社（アメリカ・シアトルを本拠とする航空機会社で家具製作から発展）

● 楽器の町への6ステップ

1. 徳川家康と天竜川の河岸段丘 —— 浜松城の形成（人口増加）
2. 天竜川の洪水と綿花栽培 —— 低地の島畑（自然堤防）
3. 綿織物業の発展 —— （踏込み）織機と大工 ※ 麻布→綿布
4. 明治の音楽教育（オルガン・ピアノ） —— 山葉寅楠（機械修理工）
5. 空っ風と木曽・赤石山脈の木材 —— 北西季節風・天竜川の木材集積
6. 陸軍浜松飛行場 —— 飛行機のプロペラ製作

感 想

3 年 組 番 ()

何故、ウナギといえば浜名湖（静岡県）なのか？

＜地理をブラタモリから見る＞

静岡・浜松はかつてウナギ日本一の生産地（1970年代は全国の70%）

現在のウナギ生産量/2017

1位鹿児島(42%)・2位愛知(26)・3位宮崎(18)・4位静岡(9)

※ 国内の全消費＝国内生産(33%)・外国からの輸入(67)―ほとんどが中国

※ 国内の最大供給年＝2000年（2017年との比較では70%供給量減）

ウナギの回遊

河川中下流域 ⇄ 浜名湖 ⇄ 太平洋（マリアナ海溝で産卵）
（淡水域） （汽水域） （海水域）

※ 稚魚のシラスウナギを浜名湖で養殖（養鰻業）

● ウナギの町への4ステップ

1. 明応大地震・津波（室町時代後期の1498年）
—— 浜名湖が砂州（天竜川の堆積物）の破堤で淡水湖から汽水湖へ
2. 江戸時代、東海道の宿場でウナギが名物（天然ウナギ）
3. 明治・大正時代、浜名湖岸に養殖池を造営（養殖ウナギ）
—— 湖岸のチャート（主に放散虫の遺骸の堆積岩、硬くて浸食に強い）を利用して湖の岸辺を囲み養殖池にする
※ 養殖池の水は三方原台地の砂礫層（天竜川の堆積物）から湧出するきれいな地下水（真水）
4. 昭和時代、陸上の浜堤（天竜川の堆積物）の小さな谷間に養殖池を造営
—— 漁業協同組合に隣接する浜堤上の東海道本線の鉄道駅から直送で販売（浜名湖のウナギが全国的に有名に）

感 想

考 察（近年の浜名湖周辺地域での養鰻業の停滞理由は何か）